

総合資源エネルギー調査会
省エネルギー・新エネルギー分科会 省エネルギー小委員会
変圧器判断基準ワーキンググループ（第1回）
議事要旨

1. 日時：2022年9月7日（水）10：00～11：00

2. 場所：オンライン

3. 出席者

委員：安岡座長、澤田委員、高橋委員、鶴崎委員、土井委員

オブザーバー：一般社団法人日本電機工業会 天兒オブザーバー、渡邊オブザーバー
一般社団法人日本配電制御システム工業会 奥田オブザーバー
送配電網協議会 穴見オブザーバー

事務局：経済産業省 省エネルギー課 稲邑課長、神取課長補佐、鈴木係員

4. 議事：

- （1）議事の取扱い等について
- （2）変圧器の現状について
- （3）変圧器の対象範囲について

5. 議事要旨：

○議事（1）議事の取扱い等について

議事の取扱い等について、了承された。

○議事（2）変圧器の現状について

○議事（3）変圧器の対象範囲について

変圧器の対象範囲について、了承された。

委員の主な意見は以下のとおり。

- 2014年度目標による改善効果について、実績値を示していただきたい。
- リプレースによる省エネポテンシャルが大きいのであれば、基準策定だけに留まらず、省エネに結びつく施策を検討いただきたい。
- 柱上変圧器について、ストックの年式や効率を把握いただきたい。

- 目標基準値の設定に当たっては、アモルファス変圧器の扱いや、国際比較、普及状況、価格動向を参考にして検討が必要と考える。
- 柱上変圧器については稼働台数が多いが、使用可能なものを長期間使用することと、リプレースすることのどちらが良いかライフサイクルで評価すべき。
- コストの観点では、ビル・工場における省エネや、カーボンニュートラルに伴う電化の進展を踏まえ、最適な容量の選定についても考慮する必要がある。

以上